

田代副市長（左）に感謝状受賞を報告する  
（右から）勝部会長、小山事務局長



## 副市長に喜び報告

下内野  
自治会 水質保全で知事感謝状

いわて水と緑の交流フォーラム（11月24日、盛岡市）で一関市大東町大原の下内野自治会が「水と緑を守り育てる活動知事感謝状」を受け4日、関係者が田代善久副市長に喜びを報告した。

同会は1989年に結成し、砂鉄川上流で清流

化の活動を展開。カジカがすめる環境にするため94年から毎年夏に石磨き大会を開催し、首都圏の学生との水環境学習交流を続けている。活動を通じ住民、学生らの水質保全意識高揚に貢献していることが評価された。

同日は勝部欣一会長、

小山隆人事務局長が市役所を訪問。勝部会長は「石磨き大会を20回続けることができたのも、地域住民や学生の協力のおかげ。今後も清流化の活動と学生との交流を継続していきたい」と報告し、小山事務局長も「石磨き大会には1回目から毎年来ている人や、家庭を持って子供を連れて来る人もいる。今年は7月26日の豪雨もあり心配したが、無事開催できた」と語った。

田代副市長は「長年の清流化の活動が評価されたと思う。川をベースに地域づくりを実践されており、市も協働のまちづくりのいい例として波及させていきたい」とたたえた。同感謝状は今回、4団体が受賞した。